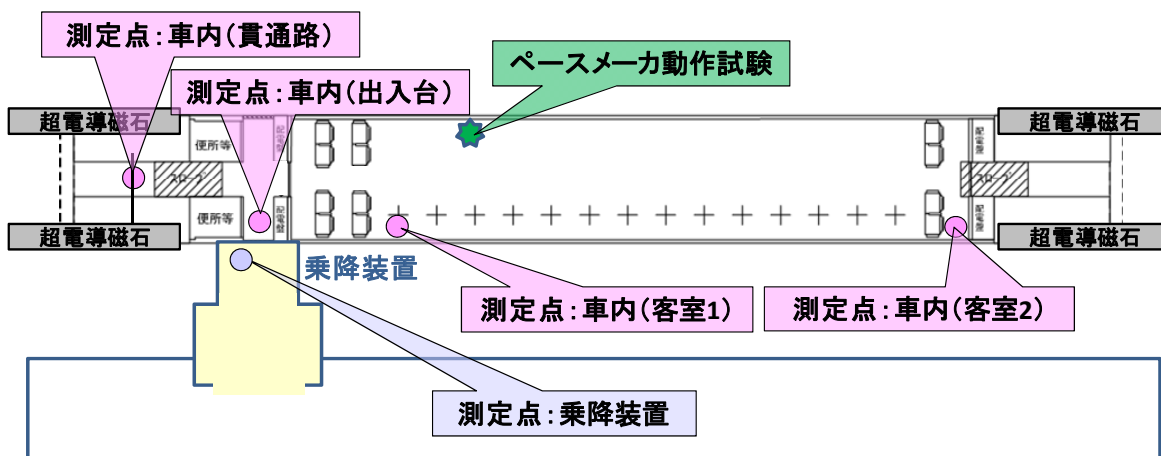


データ（測定地点Ⅲ）

平成25年12月11日
東海旅客鉄道株式会社

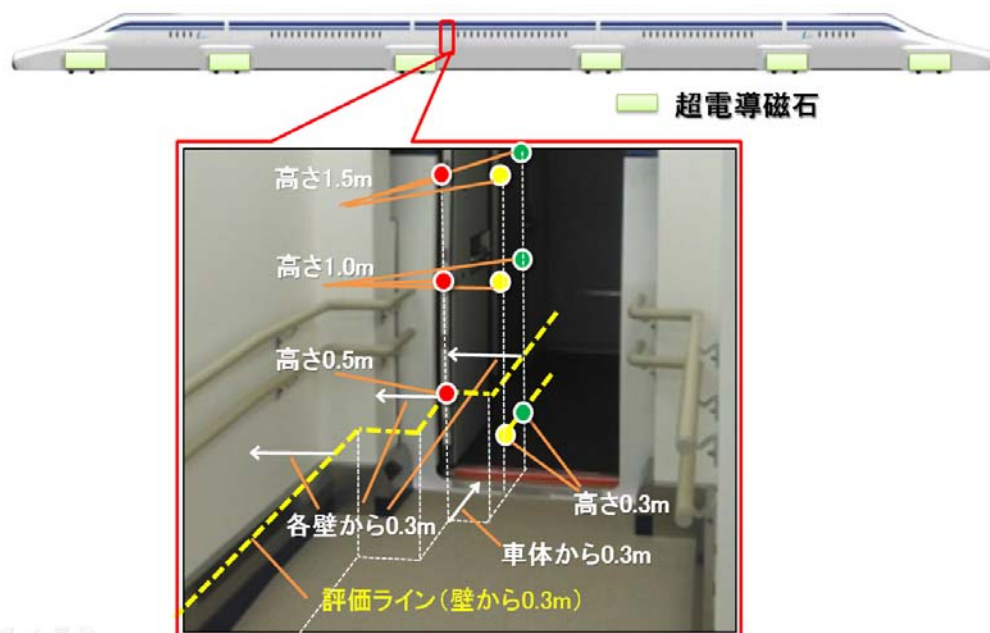
●測定点の概要

- ・乗降装置内1箇所、車内4箇所（客室内2箇所、貫通路、出入台）での測定
- ・ICNIRPガイドライン及び「植込み型心臓ペースメーカー等承認基準」（静磁界1mT）との比較



●測定位置及び測定結果

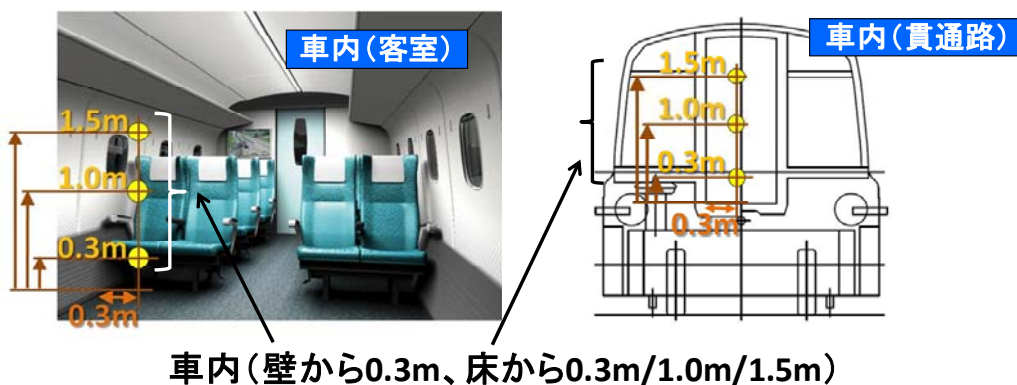
◇乗降装置と車内（出入台）



[ドア開状態での静磁界計測結果（測定機器 1）]

測定高さ	● 乗降装置	● 接続部	● 車内（出入口）	ICNIRP ガイドライン
1.5 m	0.46 mT			400mT (静磁界)
1.0 m	0.53 mT			
0.5 m	0.60 mT			
0.3 m		0.69 mT	0.54 mT	

◇車内（客室、貫通路）



[車内（客室、貫通路）測定結果]（複数回測定したデータの最大値を記載）

測定高さ	位置 条件	車内 貫通路	車内 客室 1	車内 客室 2	ICNIRP ガイドライン
1.5m	停車時測定値	0.44 mT		0.31 mT	400mT (静磁界)
1.0m	静磁界	0.81 mT	0.05 mT	0.37 mT	
0.3m	(測定機器 1)	0.92 mT	0.04 mT	0.37 mT	
	走行時測定値 (測定機器 1) ※変動磁界成分は下段参照	0.90 mT		0.43 mT	
	走行時の ICNIRP ガイドラインに対す る比率の測定結果 (測定機器 2)		3.2 %	3.3 %	—

※当社では、厚労省「植込み型心臓ペースメーカー等承認基準」（静磁界 1 mT）を満たすように設計しています。

※超電導リニアは、リニア同期モータで走行しますので、車両の超電導磁石の磁界と地上の推進コイルの磁界とを同期させて、車両を駆動します。従って、推進コイルの磁界に乗って車両と一緒に波乗りをするように走行するため、車上の人からは推進コイルの磁界は自分に対して動かない＝変動しないように見えます（この推進コイルからの静磁界成分は、走行時に測定される磁界に重畳します）。原理的に車上では推進コイルによる変動磁界は、推進力の変化による緩やかな変化以外生じません。